

令ニ定ムルモノヲ除クノ外國民體力法ニ依ル但シ同
法第二十一條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

國民體力法中主務大臣トアルハ滿洲國駐劄特命全權
大使トシ地方長官トアルハ關東州廳長官トシ市町村
長トアルハ市長又ハ民政署長トシ市町村内トアルハ
市又ハ民政署ノ管轄區域内トシ道府縣トアリ又ハ道
府縣、市町村トアルハ市トシ監獄、矯正院、少年教
護院トアルハ關東監獄トシ保健所トアルハ關東醫院又
ハ關東保健館トシ本法トアルハ本令トシ本法施行地
内トアルハ關東州内トシ勅令トアルハ關東局令トス

第二條 國民體力管理醫ノ選任又ハ解任ハ關東州廳長
官之ヲ行フ但シ特別ノ事情ニ依リ必要アルトキハ大
使ノ定ムル所ニ依リ學校長又ハ國ノ事業場若ハ施設
ノ長ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第三條 體力検査ニ要スル費用ニシテ左ニ掲グルモノ
ハ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ國庫之ヲ負擔ス

- 一 國民體力管理醫手當
- 二 體力検査補助者手當
- 三 藥品其ノ他消耗品ノ費用

附則
本令施行ノ期日ハ大使之ヲ定ム

國民體力法施行規則中改正の件公布

國民體力法施行規則中改正の件は昭和十八年三月二
十五日付官報を以て左の如く公布せられた。

國民體力法施行規則中改正ノ件

(昭和十八年三月二十五日
厚生省令第七號)

様式第一號體力検査票裏面國民體力管理醫意見欄中

「國民體力向上修練會參加ノ要・否體力向上施設ノ利
用」ヲ「健民修練否要」ニ改ム

附則

本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

船員保險法施行令中改正の件公布

船員保險法施行令中改正の件は昭和十八年三月三十
日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員保險法施行令中改正ノ件

(昭和十八年三月二十九日
勅令第二百三十五號)

第七條第二項ヲ左ノ如ク改ム

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ徵收金及督促手数料ヲ
完納シタルトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ計算シタル金
額ガ十錢未満ナルトキハ延滞金ヲ徵收セズ

第十六條第三號中「嫡出子、庶子及私生子ノ間ニ在リテ
ハ嫡出子及庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ」ヲ「嫡出子
及嫡出ニ非ザル子ノ間ニ在リテハ女ト雖モ嫡出子及庶
子」ニ改ム

第十七條ノ二 船員保險法第二十二條ノ二第一項ノ規
定ニ依ル區域ハ瀬戸内(和歌山縣海草郡田倉崎ヨリ

兵庫縣津名郡生石鼻ニ至ル線、兵庫縣三原郡門崎ヨ
リ徳島縣板野郡孫崎ニ至ル線、愛媛縣西宇和郡佐田
岬ヨリ大分縣北海部郡關崎ニ至ル線及福岡縣企救郡
門司崎ヨリ山口縣豐浦郡甲山ニ至ル線ヲ以テ區劃シ
タル海面)ヲ除ク太平洋及印度洋トス

第十八條乃至第二十條 削除

第二十一條 船員保險法第二十八條ノ二ノ期間ハ被保
險者タル資格ヲ喪失シタル日後十日トス

第二十一條ノ二 地方長官ハ道府縣醫師會長、道府縣
齒科醫師會長又ハ道府縣藥劑師會長ノ意見ヲ聽キ保
險醫又ハ保險藥劑師ヲ指定スベシ

保險醫又ハ保險藥劑師ガ療養ノ給付ヲ擔當スルノ責
務ヲ怠リ其ノ他保險醫又ハ保險藥劑師トシテ不適當
ト認ムベキ事由アルトキハ地方長官ハ前項ノ指定ヲ
取消スコトヲ得

第二十一條ノ三 保險醫若ハ保險藥劑師又ハ之ヲ使用
スル者ガ療養ノ給付ニ關シ請求スベキ費用ノ額ハ厚
生大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官之ヲ算定ス

厚生大臣前項ノ規定ニ依リ定ヲ爲サントスルトキハ
日本醫師會長、日本齒科醫師會長又ハ日本藥劑師會
長ノ意見ヲ聽クベシ

第二十二條中「第二十八條第二項」ヲ「第二十八條第三
項」ニ改ム

第二十三條第二號中「其ノ指定セザル」及同條第三號中
「地方長官ノ指定セザル」ヲ「保險醫及厚生大臣若ハ地
方長官ノ指定スル者以外ノ」ニ改メ同條ニ左ノ一號ヲ
加フ

四 其ノ他厚生大臣ノ定ムル場合ニ於テ被保險者又
ハ被保險者タリシ者ノ申請アリタルトキ

第二十六條中「船員保險法第二十八條第三號ノ規定ニ
依リ」ヲ「病院又ハ」ニ改ム

第二十六條ノ二 厚生大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ
船員保險法第三十二條第一項ノ期間ヲ超エ尚六月間

繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲スモノ
トス但シ其ノ給付ヲ始メタル日前一年以内ニ於テ實
期間三月以上被保險者タリシ者ニ限ル

第二十七條中「第二十八條第二項」ヲ「第二十八條第三
項」ニ改ム

第二十九條中「掲グル者」ノ下ニ「ニシテ病院又ハ診療
所ニ收容セラレタルモノ」ヲ加フ

第三十一條中「内地」ヲ「内地（樺太ヲ含マズ）」ニ、「第
十八條第二項、第十九條、第二十條、第二十三條及第
二十四條中地方長官トアルハ」ヲ「船員保險法第二十八
條第二項及第二十八條ノ三ノ行政官廳ハ厚生大臣トシ
第二十三條第一號及第二十四條中地方長官トアリ竝ニ
第二十三條第二號及第三號中厚生大臣若ハ地方長官ト
アルハ」ニ改ム

第三十三條ノ二 船員保險法第二十八條第三項ニ規定
スル者以外ノ被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ船
舶所有者ノ負擔割合ハ其ノ保險料額ノ五分ノ三ト
ス

第三十六條第二項及第三項ヲ左ノ如ク改ム

地方長官ハ保險料納入ノ告知ヲ爲シタル後ニ於テ告
知シタル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保
險料額ヲ超過スルコトヲ知りタルトキ又ハ納付シタ
ル保險料額ガ當該納付義務者ノ納付スベキ保險料額
ヲ超過スルコトヲ知りタルトキハ其ノ超過部分ニ關
スル納入ノ告知又ハ納付ハ其ノ告知又ハ納付ヲ爲シ
タル後六月以内ノ期日ニ於テ納付セラルベキ保險料
ニ對シ納期ヲ繰上テ之ヲ爲シタルモノト看做スコト

ヲ得

前項ノ規定ニ依リ納期ヲ繰上テ納入ノ告知又ハ納付
ヲ爲シタルモノト看做シタルトキハ地方長官ハ其ノ
旨ヲ當該納付義務者ニ通知スベシ

第六十條中「第一章乃至第四章」ヲ「第二章、第二
第三章、（日本醫師會會長、日本齒科醫師會會長、日本藥
劑師會會長、道府縣醫師會會長、道府縣齒科醫師會會長又ハ
道府縣藥劑師會會長ニ關スル部分ヲ除ク）、第四章」ニ改
ム

第八十一條中「又ハ船員法第十七條若ハ第二十九條ノ
規定ニ依ル船舶所有者ノ扶助」ヲ削除

第八十三條 削除

附則
本令ハ昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十
八年法律第二十七號中第二十八條ノ三乃至第二十八條
ノ六ノ規定實施ノ爲ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ同
年三月三十一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十一條、第六十一條及第八十三條ノ改正規定竝ニ
第三十三條ノ二及附則第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ拘
ラズ昭和十八年法律第二十七號中第三十二條第一項及
第三十三條ノ改正規定竝ニ第六十條第二項及附則第三
項ノ規定施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年法律第二十七號附則第三項ノ場合ニ於テハ
第二十一條、第八十一條及第八十三條ノ改正規定ニ拘
ラズ仍從前ノ例ニ依ル

第十七條ノ二ノ規定ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ昭和十六
年十二月八日ヨリ之ヲ適用ス

船員保險法中改正法律の一部施行期 日の件公布

日

船員保險法中改正法律の一部施行期日の件は昭和十
八年三月三十日付官報を以て左の如く公布せられた。

船員保險法中改正法律の一部施行

期日ノ件（昭和十八年三月二十九日
勅令第二百三十四號）

昭和十八年法律第二十七號ハ第三十二條第一項及第三
十三條ノ改正規定竝ニ第六十條第二項及附則第三項ノ
規定ヲ除ク外昭和十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但
シ第二十八條ノ三乃至第二十八條ノ六ノ規定實施ノ爲
ニ豫メ必要ナル範圍内ニ於テハ同年三月三十一日ヨリ
之ヲ施行ス

國民健康保險法施行規則中改正の件 公布

公布

國民健康保險法施行規則中改正の件は昭和十八年三
月二十三日付官報を以て左の通り公布せられた。

國民健康保險法施行規則中改正の件

（昭和十八年三月二十三日
厚生省令第六號）

第五條 削除

第八條中「組合設立ノ經過」ヲ「組合設立ノ經過及」ニ
改メ「及被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫
師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍」ヲ削ル